

マク・クイックシェルター

MQ-462-A

取扱説明書

- ◆マク・クイックシェルターを正しく安全にお使い頂くために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を熟読し、内容を十分理解した上でお使い下さい。
また、取扱説明書はいつも手元に置いてお使い下さい。
- ◆この取扱説明書には、危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために誤った取り扱いをすると生じる事が想定される内容を、下記2種類の【マーク】に区分しております。
いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守り下さい。

【マークの意味】



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

太陽工業株式会社

マク・クイックシエルター MQ-462-A 取扱説明書

目 次

事前確認・注意事項	…<1>
全体図	…<2>
部品一覧	…<3>
立上手順	…<4>~<7>
収納手順	…<8>~<9>
連結方法	…<10>
保守・点検・保管・連絡先	…<11>~<12>

マク・クイックシェルターを正しく安全にお使い頂くために以下の項目をお守りください。

【注】本文中、マク・クイックシェルター本体を、その形態から“テント”と表現しています。

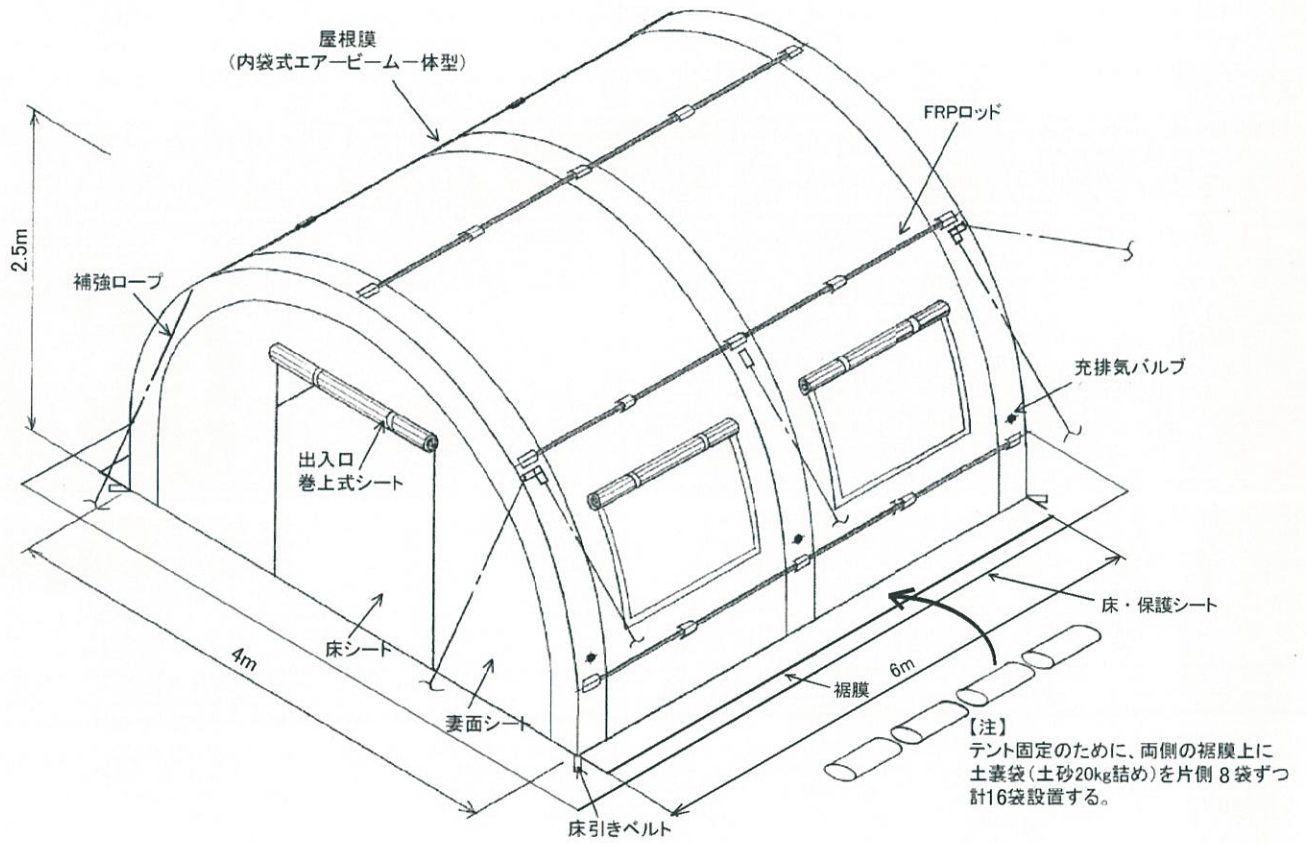
注意 【事前確認】

- 1) 設置場所の広さは、立上時・収納時のテントの動きを配慮し、安全のためテント周囲1m ずつ以上の広さを確保してください。6m×8m 以上の空間が必要です。
テントは立上時・収納時に前後左右に揺れ動くので、空間に余裕がないと、テントまたは周囲に損害を与える恐れがあります。
- 2) 設置場所は平らな場所で、小石などの突起物がある場合は取り除いてください。
突起物があると、床シートが破れ土砂や雨水等が浸入する恐れがあります。

警告 【使用時の注意事項】

- 1) 立上時は突風に注意し、風下側から送風してください。
風上側から送風すると、突風時にテントが動き、充排気バルブに接続しているホースコネクターが引っ張られて外れ、テントが途中で倒れ破損する恐れがあります。
- 2) 送風時に電動・手動ポンプが、雨水などの水分を吸い込まないようにしてください。
水分を吸い込むと、電動・手動ポンプの故障原因になるとともに、送り込まれた水分によりエアーステム内にカビ等が発生し、膜材が早期に劣化する恐れがあります。
- 3) 使用時は土嚢袋またはウォーターウェイトにてテントを固定してください。
詳細は<11>ページを参照してください。
テントを固定しないで使用すると、風圧によりテントが倒壊する恐れがあります。
- 4) 気温差によりエアーステムの内圧が大きく変化することがありますので一日一回以上、全てのエアーステムの内圧を測定し調整してください。
【注】内圧の標準値は0.01～0.012Mpa (0.1～0.12気圧)です。
内圧が過剰の場合は充排気バルブのボタンを軽く押して減圧してください。
内圧が不足の場合は手動ポンプにて加圧してください。
内圧が過剰だと、エアーステムに過度の張力がかかり膜材を破損させる恐れがあります。
内圧が不足すると、エアーステムの強度が不足し構造的に不安定になります。
- 5) 安全確保のため、風速10m/secを超える場合は、ただちに使用を中止してください。
積雪に関しては、積もる前に使用を中止してください。
風速10m/secを超えて使用すると、風圧によりテントが倒壊する恐れがあります。
テントに雪が溜まり始めると取り除くことができませんので、積雪によりテントが倒壊する恐れがあります。
- 6) テント内及びテント付近での火気の使用は、危険ですので禁止してください。
テントに火が移り火災になる危険性があります。
- 7) テントを叩いたり突付いたり、蹴ったり飛び乗ったりする行為は、危険ですので禁止してください。
テントを破損させる恐れがあるとともに、その行為を行った人や周りの人が負傷する危険性があります。

MQ-462-A 全体図



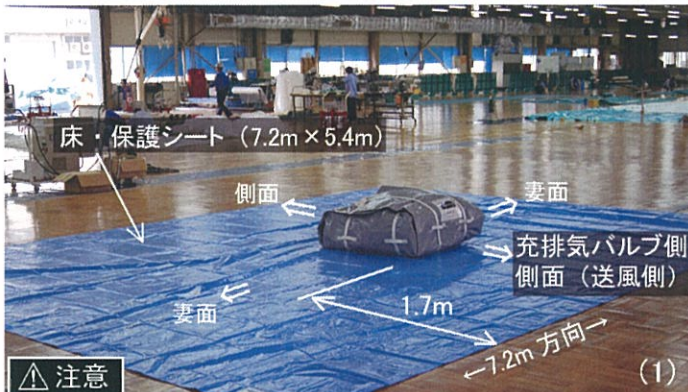
MQ-462-A 部品一覧



No.	部品名	個数		No.	部品名	個数	
A	本体テント (収納袋入り)	1	式	D	収納ケース・大 (収納時)	1	箱
B	連結式FRPロッド (収納袋入り)	5	組	①	床・保護シート	1	枚
C	収納ケース・小 (収納時)	1	箱	②	圧力計(ケース入り)	1	台
①	電動ポンプ (AC100V)	1	台	③	手動ポンプ	1	台
②	分岐ホース(3分岐用)	1	式	④	補強ロープ	10	本
				⑤	ペグ(スチール)	10	本
				⑥	ハンマー	1	丁
				⑦	作業用手袋	6	組
				⑧	補修用粘着シート	3	枚
				⑨	土嚢袋	30	枚

【注】改良のため予告なく仕様変更することがあります。

MQ-462-A 立上手順



小石などを取り除き、現場に床・保護シートを広げてください。その上に収納袋入りの本体を置いてください。
【バルブ側】と記入された面を床・保護シートの端から1.7mの位置に置き、左右は中央の位置に置いてください。その際、4人以上の人数で収納袋の取手を掴んで持ち上げながら運搬し、絶対に引きずらないでください。



MQ-462-A 立上手順

(8)



△ 注意

連結式 FRP ロッド

ロッド通し帯

↑
端部ポケット

連結式 FRP ロッドを端部ポケットに確実に挿入してください。

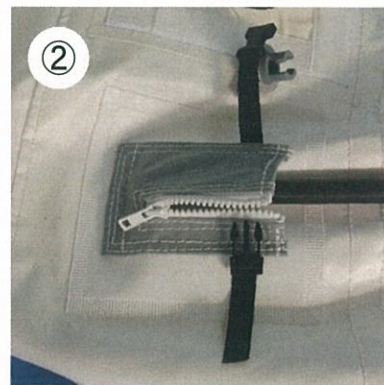
テントを広げ終わったら、連結式 FRP ロッド（4本繋ぎ、5組）を繋げ、“ロッド通し帯”を通して取り付けてください。

(9)



△ 注意

“ファスナー式端部ポケット”に①、②、③、④の順序で、連結式 FRP ロッドを確実に取り付けてください。



安全のために、ファスナーを閉めたら、引手を折り返しロック状態にしてください。



安全のためにバックルを閉めベルトを締め込んでください。

(10)



△ 注意

連結式 FRP ロッド（4本繋ぎ、5組）を上記の順番で全て確実に取付けてください。

MQ-462-A 立上手順

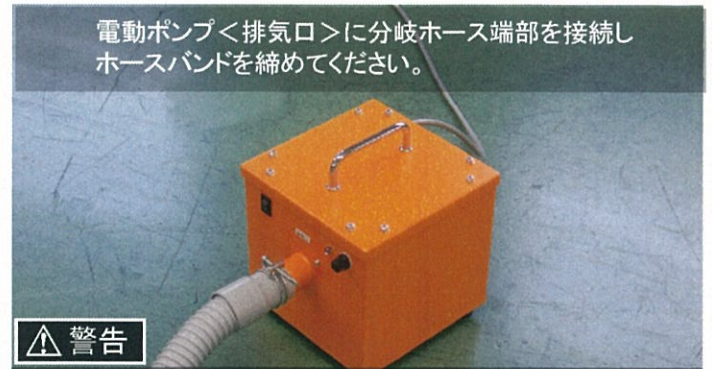


注意

充排気バルブのボタンを押し、ボタンが“出っ張った”状態にしてください。



【注】充排気バルブは各エアースタックに1個ずつ付き、押しボタン操作により弁が開閉します。充気時・使用時には左写真のようにボタンが“出っ張った”閉状態にしてください。圧力をかけた空気は入りませんが中からは洩れません。この状態からボタンを押すとボタンが“引っ込んだ”開状態になり、中の空気は外に出ます。

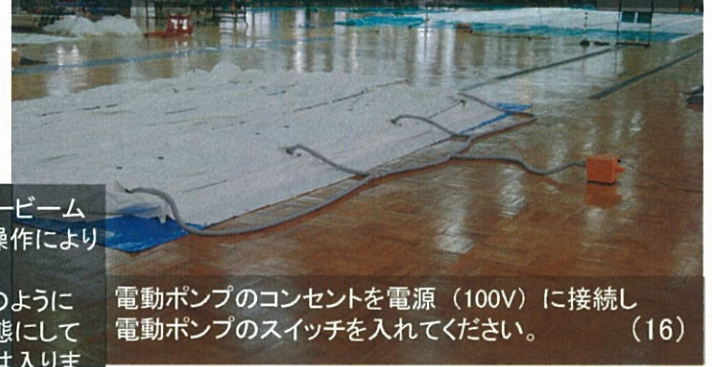


警告

電動ポンプ安全使用のために以下の項目を厳守してください。

- 電動ポンプを絶対に分解しないでください。
- 電動ポンプを雨水に濡れさせないでください。
- 電動ポンプ吸気口から水分を吸い込まさせないでください。
- 電動ポンプを引火物の近くで使用しないでください。
- モーター部損傷防止のため、テント立上り後、1分以内にスイッチを切ってください。

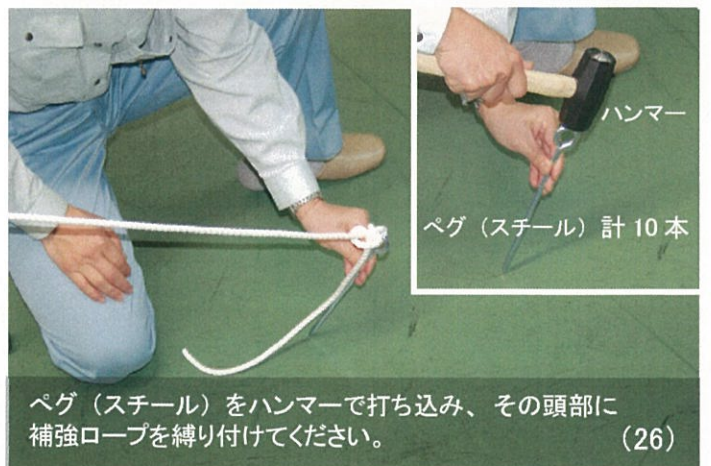
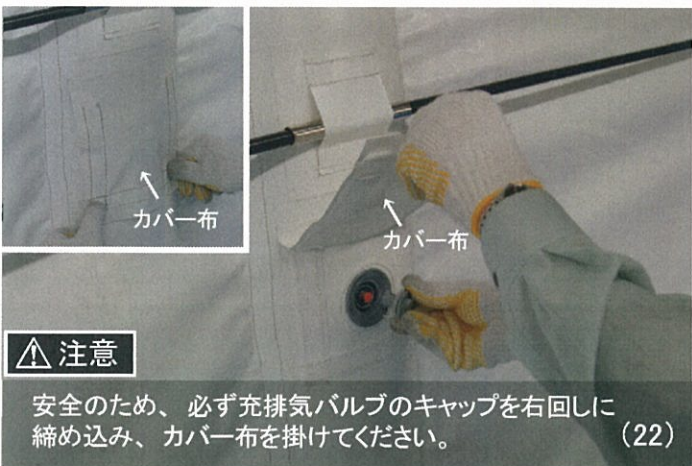
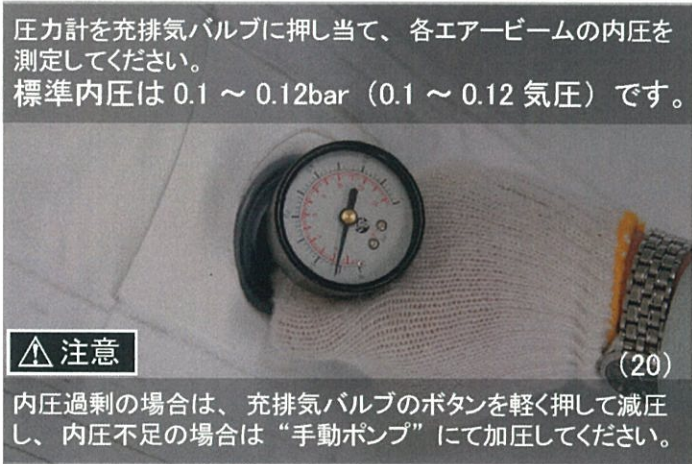
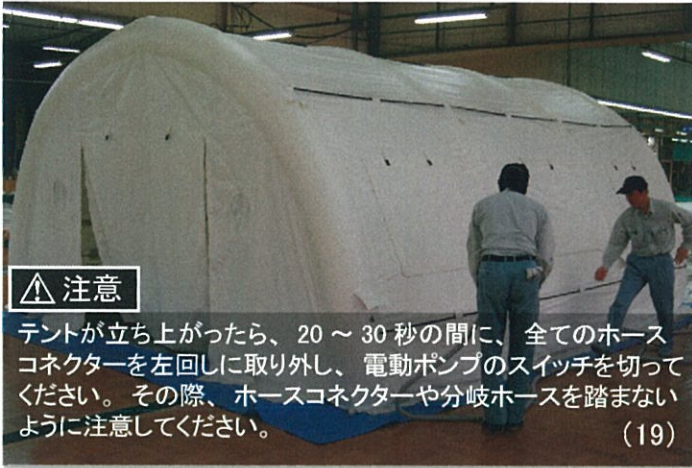
(15)



注意

作業中、充排気バルブを踏まないようにしてください。充排気バルブを踏み付けると、バルブが破損し、空気漏れの原因になります。

MQ-462-A 立上手順



MQ-462-A 収納手順

【注】排気し易くするために、出入口巻上式シート・ファスナーを開けておいてください。

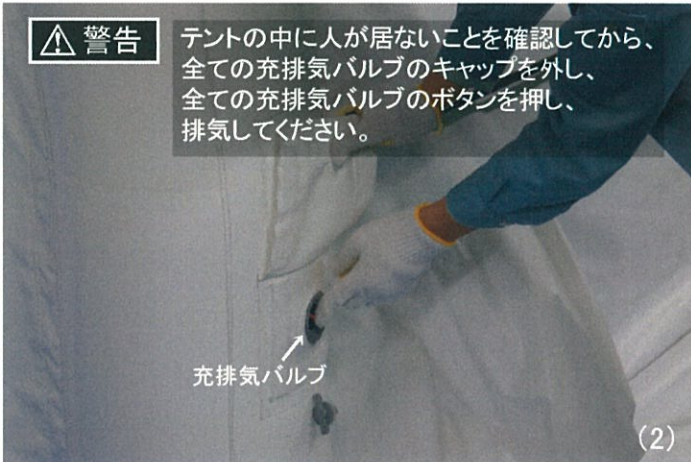


(1)



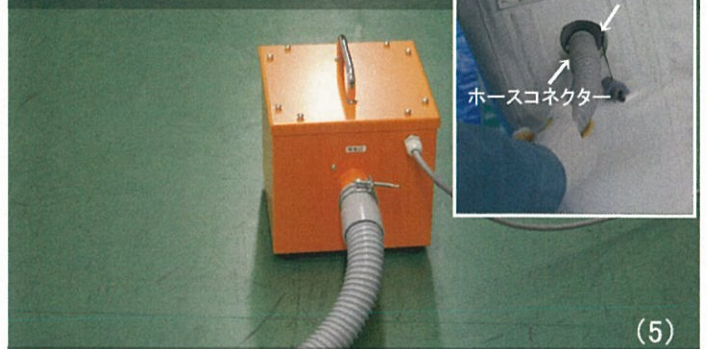
警告

テントの中に人が居ないことを確認してから、全ての充排気バルブのキャップを外し、全ての充排気バルブのボタンを押し、排気してください。



(2)

全ての充排気バルブ（4ヶ所）にホースコネクターを右回しに取付けてください。



(5)

電動ポンプ<吸気口>に分岐ホース端部を接続してください。電動ポンプのプラグを電源（100V）に接続し、スイッチを入れ、残った空気を抜き取ってください。
【注】排気口から空気が出なくなったら直ちにスイッチを切ってください。



(6)



(3)



(7)



(4)



(8)

MQ-462-A 収納手順



MQ-462-A 連結方法



マク・クイックシェルターを正しく安全にお使い頂くために以下の項目をお守りください。

△ 注意 【保守・点検・保管】

- 1) 一年に一度以上は使用試験を行い【点検表】（次ページ）により各部の点検を行ってください。
- 2) テントその他の部品は必ず収納袋、収納ボックスに収納し、直射日光の当たらない乾燥した場所に保管してください。
- 3) テントの汚れを拭き取る場合は、乾いた布か水拭きで行ってください。
水拭き後は完全に乾燥させてから収納してください。
水拭きで落ちにくい場合は、中性洗剤を使用してください。
有機溶剤は生地を著しく痛めますので、絶対使用しないでください。
- 4) テントが雨水等で濡れた場合は、十分乾燥させてから収納してください。
- 5) お客様にて修理可能なテントの破れ（数 cm 以下）の場合は、付属の“補修用粘着シート”を使って補修してください。
但し、エアービーム部の破損に関しては、空気漏れや破裂の原因になりますので、弊社（下記連絡先）まで連絡してください。
- 6) お客様にて修理不可能な場合は、弊社（下記連絡先）まで連絡してください。

【連絡先】

太陽工業株式会社
マク・クイックシェルター担当

〒154-0001 東京都世田谷区池尻 2-33-16
TEL 03-3714-3344
FAX 03-3714-3954

【点検表】

		ご担当者	点検日
点検項目	点検結果	処置	
①	屋根膜に破損やひどい汚れはないか		
②	妻面シートに破損やひどい汚れはないか		
③	床シートに破損やひどい汚れはないか		
④	FRP ロッドやスリーブに破損はないか		
⑤	充排気バルブに異常はないか		
⑥	分岐ホースに異常はないか		
⑦	電動ポンプに異常はないか		
⑧	手動ポンプに異常はないか		
⑨	圧力計に異常はないか		
⑩	補強ロープ、ペグに破損はないか		